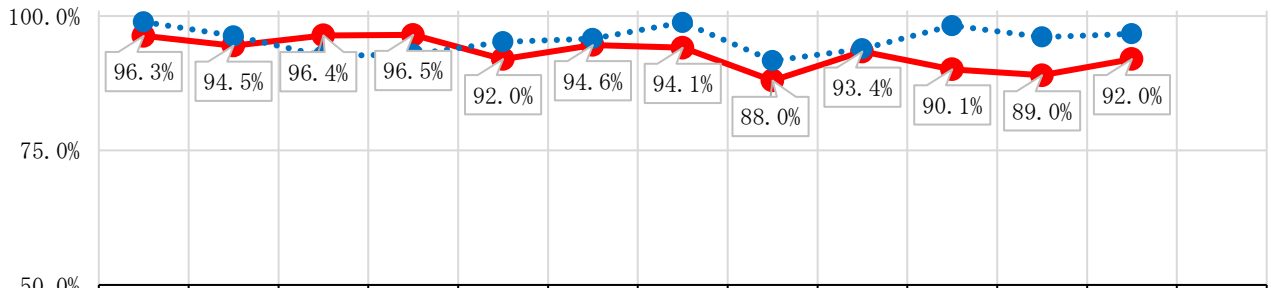
【法人本部】
令和４年度は衛生資材の確保を継続し、「感染症を施設に持ち込まない」を重点課題とし、対策を講じてきたが入所施設でコロナウィルスのクラスターが発生し、急速に拡がるオミクロン株との戦いの難しさ、集団生活でウィルス感染拡大を予防することの難しさを痛感した。施設内でコロナウィルス罹患者が発生した際には、施設長、役職者、看護師等で速やかに感染管理委員会を開催し、対策を講じ、また保健所、行政、医療機関に助言や指導を仰いだが、現場の介護職員をはじめとする職員の感染症に対するスキルにもバラつきがあり何より情報共有が不十分で、感染症発生後の対策が後手に回った。
今回の経験を通して、感染拡大した原因をしっかりと検証し、今後の感染症に備える。
　長引く感染症対策やクラスターのため入居者と家族が交流できる機会や、面会も一定の制限をせざるを得なかった。家族の希望や要望を聞く機会を設けるため、施設運営についてアンケートを実施したが、面会に対する要望が多く、家族はいつでも自由に会える環境を望んでおられる。また、令和５年５月に感染法上の分類が５類相当になることにも大きな期待を寄せている。
今後も高齢者施設に対する厚生労働省や行政の対策に準じ、家族に丁寧に説明すること、また制限だけでなく新しい生活様式を家族と共に考え高齢者施設の在り方や過ごし方を模索していくことが必要だと思われる。
　利用者の望む生活を実現するためには、ケアの質の向上が不可欠であるため、職員研修として少人数(５人から８人)の接遇研修を企画し、外部講師を迎え受講した。京都の職員は受講を終了したが、しがそせい苑の職員はコロナ感染拡大が影響し、半数の職員が未受講のため令和５年度の継続研修とする。
３年以上にわたる感染症対策は職員にとっても大きなストレスとなっていたが、令和４年は職員の慰労と職員交流の機会として少人数の日帰り旅行を実施した。職員の８割が参加し職員のモチベーションアップに繋がった。介護職員及びケアマネージャーの採用については厳しい状況が続いている。
　令和４年度決算では、介護老人福祉施設まどかは特養、まどかショートステイ、まどかⅡ番館デイサービスが業績を伸ばし、新型コロナウィルス施設内感染の影響で、そせい苑ショートステイ、しがそせい苑ショートステイ、しがそせい苑デイサービスでは、入所受け入れを休止したため、収入に大きく影響し業績が落ちた。人件費比率は法人全体で 61.6%と高く、法人全体で派遣職員の雇用がふえていることが大きな課題と言える。水光熱費や食材費の高騰もみられるため支出削減の取り組みが求められる。
令和４年度は新型コロナウィルスに係る市町村からの補助金及びしがそせい苑の独立行政法人福祉医療機構からの借入金の返済が終了したため当期資金収支差額は昨年より増収となった。

特別養護老人ホームそせい苑

【事業報告】

令和４年度は、施設内で 11 月と１月に新型コロナウイルスのクラスターが発生し、入院されたご利用者が 14 名となった。また、クラスターが要因で新規入所者を受入れられず、空床期間が長くなった。
高品質のケア目標として今年度は誤嚥性肺炎の勉強会や口腔ケアの見直しを行った。その結果、昨年度６件の入院があったが、今年度は２件と件数を減らすことができた。
安定した介護サービスを提供するために人材の確保に努めたが、直接雇用の入職者は２名と少なく、派遣職員が全体の 66%と割合が高くなっている。インターネットサイトを利用し、求人募集を増やしているが、反応が薄い結果である。直接雇用の人材確保に努めるため、合同企業説明会等の対面での求人も積極的に実施していく。
設備投資として中間機械浴槽を１機と固定電話の 21 台を更新した。次年度も引き続き配管やエアコンなどの老朽化した箇所を修繕していく。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	96.3%	94.5%	96.4%	96.5%	92.0%	94.6%	94.1%	88.0%	93.4%	90.1%	89.0%	92.0%	93.1%
令和3年度	98.9%	96.3%	92.6%	92.9%	95.2%	95.8%	98.8%	91.7%	93.9%	98.2%	96.1%	96.7%	95.6%

【入院日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	48	52	52	54	91	58	88	180	77	157	95	60	1,012
令和３年度	16	55	70	99	68	37	18	126	86	25	27	28	655

【新規入所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1	2	2	12
令和３年度	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	0	1	10

【退所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	2	2	0	0	1	1	0	1	1	1	2	2	12
令和３年度	0	1	2	1	1	1	0	2	1	0	1	0	10

【空床日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	7	14	2	0	1	16	0	0	20	69	70	75	274
令和３年度	0	3	40	8	15	22	0	2	6	0	16	12	124

【平均要介護度】

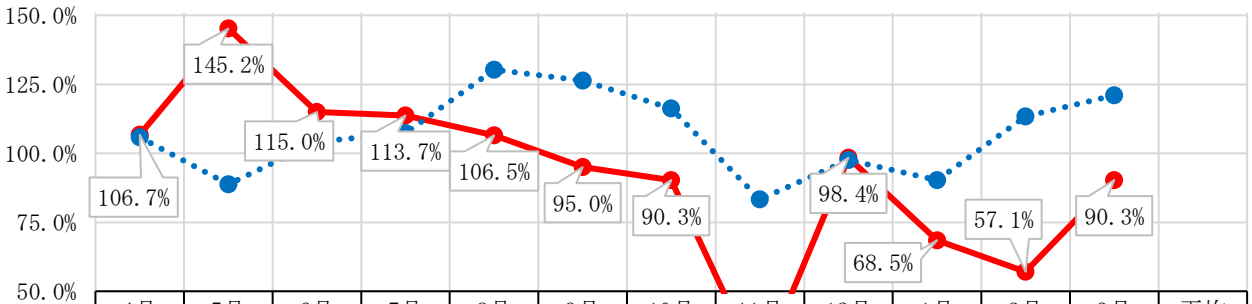
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
令和３年度	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7

そせい苑ショートステイ

【事業報告】

新型コロナウイルスの流行に伴い、ご利用者の体調管理や同居家族の体調を送迎時に聞き取りを行い、水際対策に努めていたが 1 月にショートステイを利用中に発熱されたご利用者が新型コロナウイルスに罹患し、施設内がクラスターとなった。そのため、ご利用者の利用期間の短縮やショートステイの受け入れを停止したため、稼働率が年間平均 15.4%低下した。

サービスの向上を図るために、ご利用者の食事をしていただく空間を改めて見直し、花を飾り物静かな空間を作ったことでショートステイのご利用者同士で顔見知りの輪が広がり、リピーターは増えたが新規利用者は昨年度より 6 名の減少となった。今後も新規利用者を獲得するために他事業所のケアマネジャーや現在ご利用されているご家族と良い関係性を構築していく。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	106.7%	145.2%	115.0%	113.7%	106.5%	95.0%	90.3%	21.7%	98.4%	68.5%	57.1%	90.3%	92.4%
令和3年度	105.8%	88.7%	104.2%	107.3%	130.3%	126.3%	116.3%	83.3%	97.6%	90.3%	113.4%	121.0%	107.0%

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和 4 年度	19	21	17	15	19	14	13	6	6	16	11	13	14.2
令和 3 年度	14	12	13	12	18	14	13	14	17	21	19	21	15.6

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 4 年度	3	3	1	1	4	2	1	0	3	3	2	1	24
令和 3 年度	4	4	1	1	6	1	0	1	3	3	4	2	30

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和 4 年度	2.7	2.6	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5	2.1	2.5	2.5	2.3	2.7	2.55
令和 3 年度	3.6	3.6	3.6	3.5	3.2	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	2.8	3.35

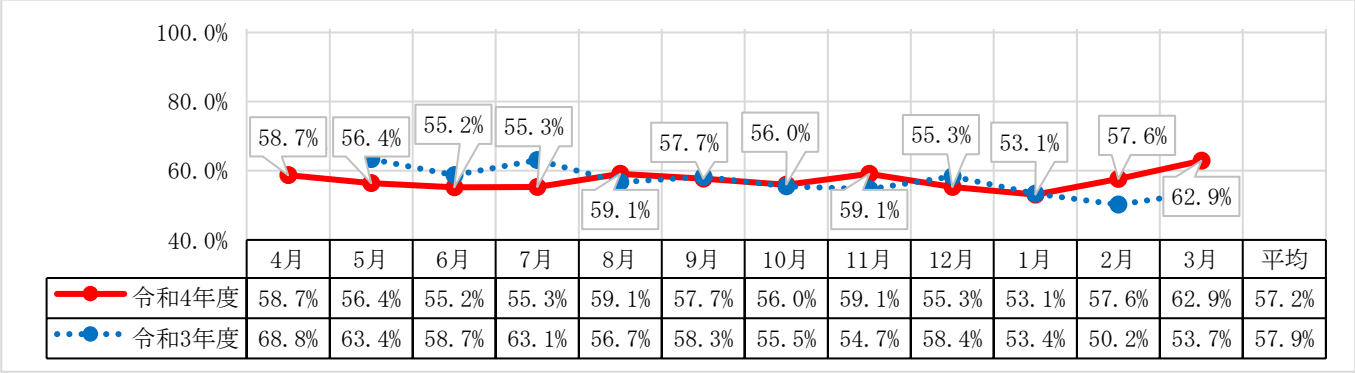
そせい苑老人デイサービスセンター

【事業報告】

令和４年度はレクリエーションのバリエーションを増やし、プロジェクターの大画面にゲーム画面を投影させ、ゲーム感覚で体を動かすもの等、選択できるレクリエーションを増やしたことで活気が増した。

課題として、1 日のデイサービスの過ごし方をご利用者に選んでもらえるような仕組みを考え取組む。

稼働率については定期的な事業所への訪問を現場リーダーが月に 2 回行い、お試し利用は 32 名を獲得し、利用開始が 20 名となったが入院者や施設入所等の終結者の割合が多く、稼働率は昨年度より 0.7%低下した。課題としてはご利用者のデイサービスでの利用状況を定期的にケアマネジャーや家族への連絡が積極的に出来ていないことやご利用者のニーズを把握する事が出来なかった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	58.7%	56.4%	55.2%	55.3%	59.1%	57.7%	56.0%	59.1%	55.3%	53.1%	57.6%	62.9%	57.2%
令和3年度	68.8%	63.4%	58.7%	63.1%	56.7%	58.3%	55.5%	54.7%	58.4%	53.4%	50.2%	53.7%	57.9%

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	1	1	1	3	1	0	6	2	1	1	2	1	20
令和３年度	2	1	1	0	0	0	1	3	2	0	0	3	13

【お試し利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	3	3	4	3	3	4	2	2	2	3	3	32
令和３年度	1	1	2	1	0	1	2	1	1	1	0	3	14

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	38	39	36	36	38	42	42	41	38	41	41	41	39.4
令和３年度	41	39	40	38	35	35	35	35	37	35	32	35	36.4

【個別機能訓練加算　算定人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	34	35	35	32	32	32	33	32	32	33	33	40	33
令和３年度	37	37	37	37	35	35	35	35	35	35	34	34	35

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	2.2	2.3	2.3	2.2	2.3	2.2	2.1	2.2	2.1	2.2	2.3	2.3	2.2
令和３年度	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.2

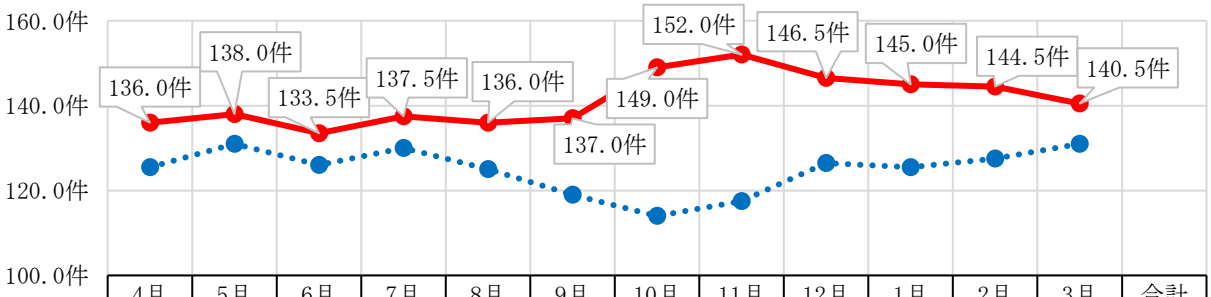
そせい苑ケアプランセンター

【事業報告】

年間通じて新規獲得を図り、終結者がいながらも稼働率を向上することができた。ただ、下半期以降に職員の新規採用を図り、さらに利用者を獲得していくなど、その後の経営努力を怠ってしまったことは反省すべき点である。

支援の質について、今年度は医療との連携強化を目標に掲げていたことから、積極的に受診同行し、主治医と『顔の見える関係』を構築することに努めた。ただ、同じく目標に掲げていた「定期的な会議の質の向上」については、「検討したい内容」がある時とない時とで質の差が大きく、課題が残った。

今後も市中の感染状況などを注視しながら、感染対策を十分に講じ、引き続き新規獲得および既存の利用者に対する支援を継続していく。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年	136.0件	138.0件	133.5件	137.5件	136.0件	137.0件	149.0件	152.0件	146.5件	145.0件	144.5件	140.5件	1695.5
令和３年	125.5件	131.0件	126.0件	130.0件	125.0件	119.0件	114.0件	117.5件	126.5件	125.5件	127.5件	131.0件	1498.5

【要介護利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	130	132	127	131	130	131	143	146	141	140	139	134	135.3
令和3年度	120	126	121	125	120	114	109	112	121	120	122	125	119.6

【要支援利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	12	12	13	13	12	12	12	12	11	10	11	13	11.9
令和3年度	11	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	12	10.6

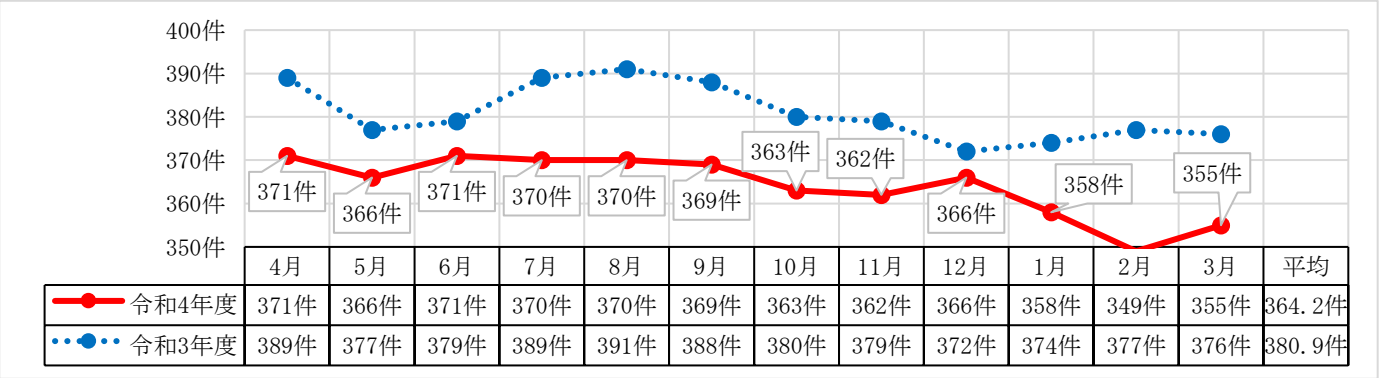
【新規受付数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	8	3	4	6	2	3	7	3	2	1	4	0	43
令和3年度	3	4	2	7	2	0	3	4	7	5	4	3	44

下鳥羽地域包括支援センター

【事業報告】

令和４年度は 2019 年 12 月末から全世界に波及した新型コロナウイルス感染の煽りと名残を受け、数度の蔓延防止期間の中で地域との繋がりの強化としてＩＴを駆使し、コロナ禍でも継続できる地域との連携や支援を編み出せたと言える。しかしながら下肢筋力低下が要因と考えられる転倒、骨折からのＡＤＬ低下、他者との繋がりや居場所などの機会減少から引きこもりとなり、認知症進行に伴う相談件数の増加など区分変更の要因の 48%は前述が元になっており、下記の折れ線グラフが示す給付管理数の減少は給付管理数本来の果たすべき介護予防支援が追い付いていない状況が露呈していると言える。また包括内での職員のクラスター発生という事態にも陥り包括の支援事業にも支障をきたす事態を招いた。次年度は感染予防強化とともに新しい形の介護予防を一層強化したい。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	371件	366件	371件	370件	370件	369件	363件	362件	366件	358件	349件	355件	364.2件
令和3年度	389件	377件	379件	389件	391件	388件	380件	379件	372件	374件	377件	376件	380.9件

【委託件数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	93	90	95	93	89	89	87	83	82	77	75	78	119.5
令和3年度	105	103	104	104	103	105	102	105	102	102	100	99	102.8

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	22	33	34	17	36	33	26	19	23	22	25	22	26.0
令和3年度	17	10	13	20	26	19	28	32	18	19	17	30	20.8

【主な相談内容】

ＡＤＬの低下と高齢に伴う不安の相談が最も多く、次いで認知症の進行の相談が目立った。
これについてはコロナ禍における活動自粛などで外出や家族・友人と会う機会が減り、筋力の低下や生活全般への不安が増大し、さらには認知症の発見が遅れたのではないかと考察する。

【取り組んだ行事】

ウオークラリー　11 月 2 日
Let‘s 体操　第 3 水曜日　参加人数は 9 名から 10 名
ＩＴと対面を駆使した地域ケア会議開催　2 月 10 日実施

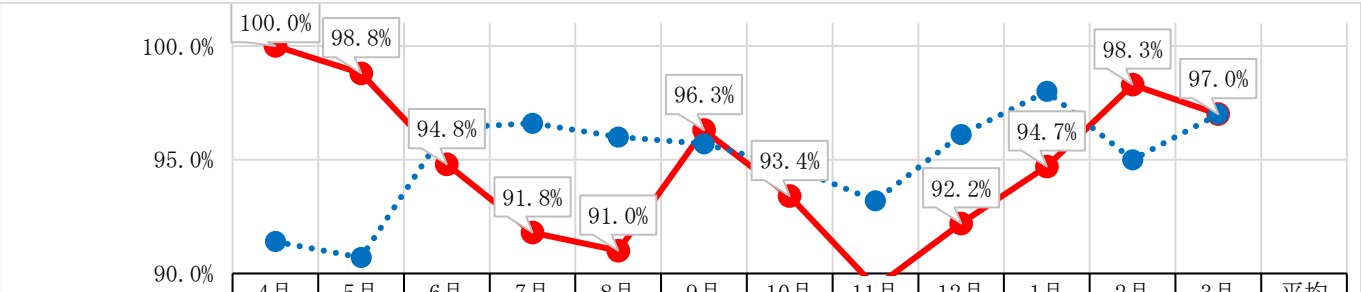
【包括職員スキルアップ向上のための研修について】

医療と介護の連携の重要性に加え、昨今は来る大規模災害に備えるＢＣＰ関連の研修や、現代社会において社会問題になっている「ヤングケアラー」についての研修に参加し、視野を広げ、支援に活かせるよう心掛け、また職員間の学んだことの共有を強化した。

介護老人福祉施設まどか

【事業報告】

令和４年度は年間平均稼働率が 94.8%となり、令和３年度の 95.1%を下回る結果となった。
令和３年度０件だった骨折での入院が、３件（入院日数合計 107 日）発生したことが大きな原因と考えられる。多職種が協働して、転倒・骨折に対する予防を講じることが課題である。一方で令和３年度から取り組んでいる口腔ケアの徹底により、誤嚥性肺炎での入院は０件を達成することができた。
これは、お掃除ロボットの導入により業務の効率化が進み、職員の業務負担が軽減したことで、職員の精神的な余裕が生まれ、口腔ケアに費やす時間を確保することができたと考えられる。また、令和３年度の空床日数は合計 54 日だったが、令和４年度は同じ入退所者数で合計 39 日に減らすことができた。
コロナの感染については、職員が陽性者となることはあったが、施設内に持ち込むことなく、ご入居者が罹患することを防ぐことができた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	100.0%	98.8%	94.8%	91.8%	91.0%	96.3%	93.4%	89.4%	92.2%	94.7%	98.3%	97.0%	94.8%
令和3年度	91.4%	90.7%	96.4%	96.6%	96.0%	95.7%	94.7%	93.2%	96.1%	98.0%	95.0%	97.0%	95.1%

【入院日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	11	55	70	73	30	68	79	51	41	14	27	519
令和３年度	75	76	31	20	36	35	21	54	23	18	33	29	451

【新規入所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	1	2	0	2	1	1	1	0	0	8
令和３年度	0	1	0	1	0	1	1	1	2	0	1	0	8

【退所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	2	1	1	1	2	1	0	0	0	8
令和３年度	0	1	0	1	0	1	2	0	2	0	1	0	8

【空床日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	0	9	2	2	15	3	8	0	0	39
令和３年度	0	8	0	3	0	3	21	5	13	0	1	0	54

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	3.9	3.9	3.6	3.8	3.7	3.5	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	3.7	3.76
令和３年度	3.7	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8

まどかショートステイ

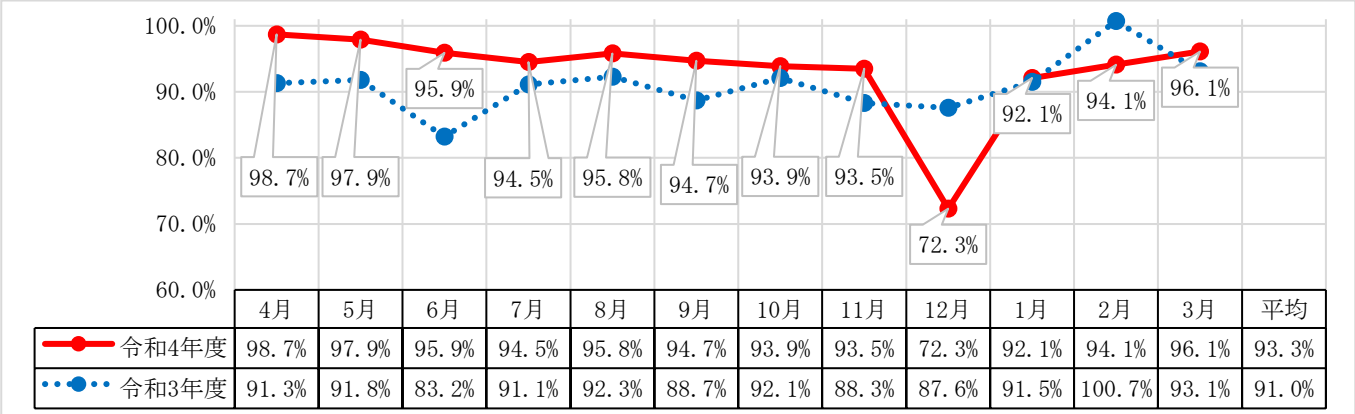
【事業報告】

コロナ発生による営業中止期間のあった 12 月を除いては、毎月 90%台の稼働率を維持することができ、安定した経営に寄与した。年間平均稼働率も昨年の 91.0%を上回る 93.3%となった。

日頃から相談員と介護リーダーが居宅介護支援事業所に対して空室案内や、家族に利用中の様子を丁寧に伝えるなどの対応が「まどかショートステイ」への認知度を高めることにつながったと思われる。また、新規ご利用者数も令和 3 年度の 54 人から 91 人へと増加した。

介護現場では、日々の体操や季節のクラフト作りなど継続的に実施することができていたが、年度当初に挙げていたショートステイ独自のクラブや行事の企画・実施には至らなかった。

サービスの質の向上を目的に「忘れ物を減らす」取り組みを継続的に行い、その過程で職員皆が意見を出し合えるなどの良いチーム作り、職員育成につながるきっかけができている。令和 5 年度も引き続き取り組んでいく。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	98.7%	97.9%	95.9%	94.5%	95.8%	94.7%	93.9%	93.5%	72.3%	92.1%	94.1%	96.1%	93.3%
令和3年度	91.3%	91.8%	83.2%	91.1%	92.3%	88.7%	92.1%	88.3%	87.6%	91.5%	100.7%	93.1%	91.0%

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	52	51	51	55	64	54	64	61	45	59	51	55	55.1
令和3年度	45	50	44	45	47	45	42	43	53	46	50	47	46.4

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	6	8	8	12	13	7	12	6	4	4	6	5	91
令和3年度	3	4	2	4	4	2	1	5	5	5	10	9	54

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	3.4	3.3	3.3	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	3.4	3.4	3.4	3.3	3.4
令和3年度	3.8	3.3	3.3	3.1	3.1	3.1	3.2	2.9	2.7	2.7	2.6	2.7	3.0

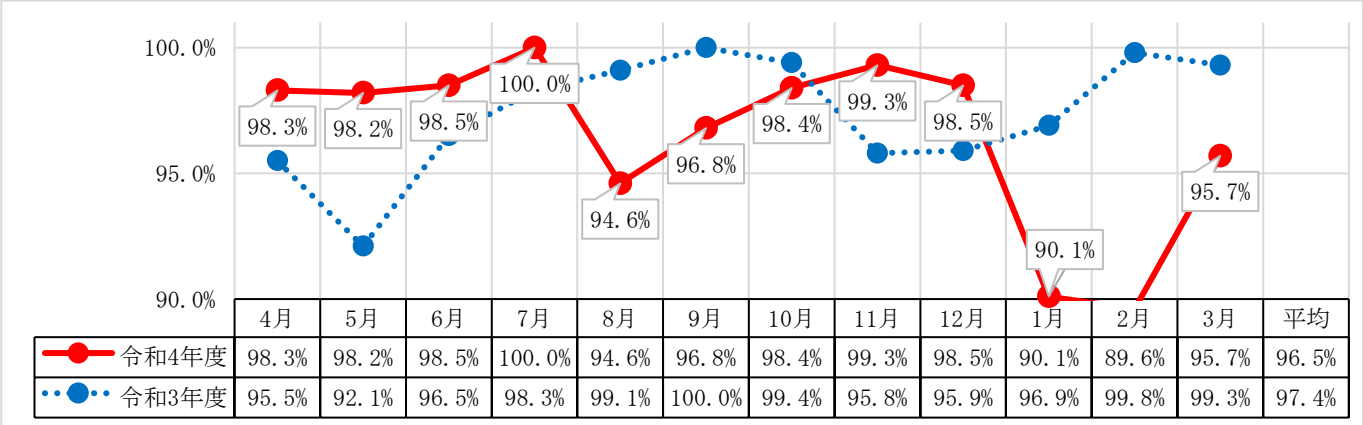
まどかⅡ番館特別養護老人ホーム

【事業報告】

7月下旬から8月にかけて、コロナウイルスのクラスターが発生したが、マニュアルの可視化と感染症対策を強化し、発生者はご入居者5名、職員6名で終息した。感染症対策の一環で、常に居室内の清潔を保てるようコードレス掃除機を購入し、汚れたら掃除するよう意識づけできた。

令和4年度は昨年と比較して、誤嚥性肺炎での入院日数が増加した。年間平均稼働率は95.7%に留まり、目標稼働率の98%には届かなかった。また、安定した経営を図る為、科学報酬（LIFE）での新規取得算定に向けた書類の整備を目標としていたが、整備するまでに至らず、新たに加算の算定ができなかった。

5月より新たに介護支援専門員が入職し、ご家族との関係性が深まり、窓口の一本化も図れている。毎月のエントランスの写真掲示、ブログでの日常生活の発信により、コロナ禍でのご家族への情報発信にも意識した一年であった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	98.3%	98.2%	98.5%	100.0%	94.6%	96.8%	98.4%	99.3%	98.5%	90.1%	89.6%	95.7%	96.5%
令和3年度	95.5%	92.1%	96.5%	98.3%	99.1%	100.0%	99.4%	95.8%	95.9%	96.9%	99.8%	99.3%	97.4%

【入院日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	7	29	13	0	51	24	30	7	15	93	87	66	422
令和3年度	42	64	30	16	8	0	1	21	31	27	1	1	239

【新規入所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	6
令和3年度	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4

【退所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	5
令和3年度	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	6

【空床日数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	8	10	0	0	0	6	0	0	0	0	3	38	65
令和3年度	0	7	0	0	0	0	14	20	5	0	0	5	51

【平均要介護度】

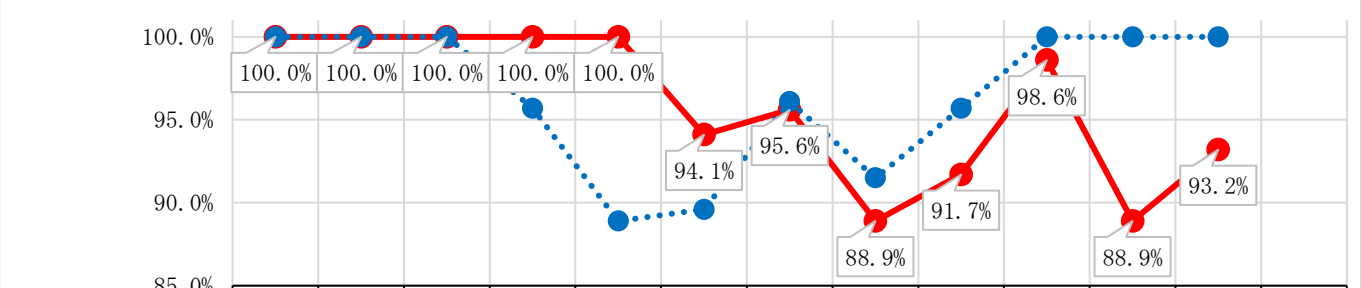
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
令和3年度	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6

まどかⅡ番館グループホーム

【事業報告】

令和４年度は昨年度より新規入所に係る空床日数を減少する事ができたが、転倒等による骨折による入院日数が増えたため年間稼働率が 95.9%となった。待機者がいない状況を打破し、速やかに新規入所できる体制を常に準備しておく事が課題となっている。生活場面では、午前・午後の体操、レクリエーションに加え個別に応じた体操やレクリエーションを実践し、活動性や認知機能の低下予防に努めたが、外出や歩く機会を設ける事ができなかったのも転倒の要因の一つであった。

健康面では、日々の健康管理、かかりつけ医との連携・情報共有を徹底しご家族のみの受診（情報提供）等で柔軟に対応し、入居者の持病の悪化を予防する事ができた。人材面では、介護福祉士の補充ができずに終わり、サービス提供強化加算を算定する要件を維持することができなかった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.1%	95.6%	88.9%	91.7%	98.6%	88.9%	93.2%	95.9%
令和3年度	100.0%	100.0%	100.0%	95.7%	88.9%	89.6%	96.1%	91.5%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	96.5%

【入院日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	0	0	0	2	14	25	4	19	0	64
令和３年度	0	0	0	0	0	0	0	16	4	0	0	0	20

【新規入所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
令和３年度	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3

【退所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
令和３年度	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3

【空床日数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	0	0	0	0	0	17	10	15	0	0	30	0	72
令和３年度	0	0	0	12	31	28	11	20	9	0	0	0	111

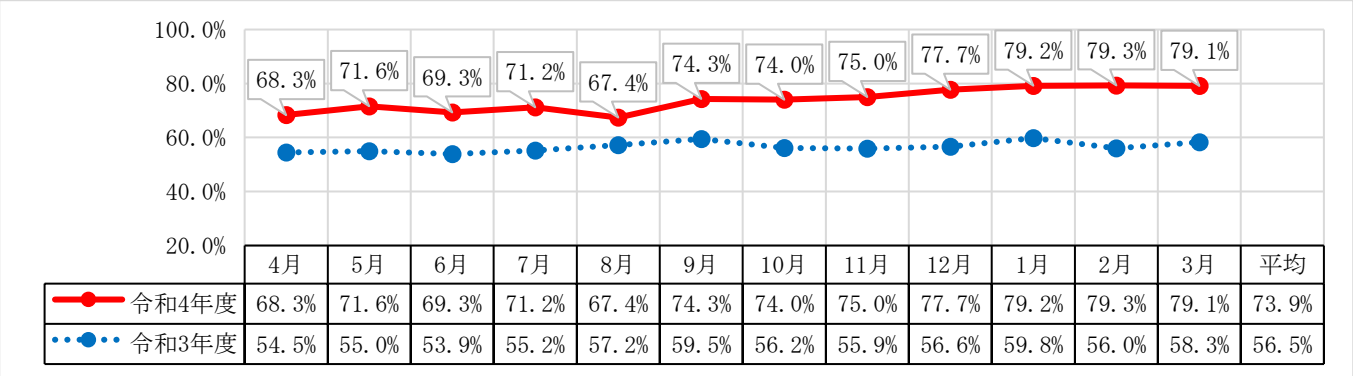
【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	2.3	2.3	2.3	2.3	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2
令和３年度	2.3	2.3	2.3	2.3	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3

まどかⅡ番館デイサービスセンター

【事業報告】

デイサービス利用中は当施設を選んで頂けるよう一人一人の時間や過ごし方を重視し、個別に応じた機能訓練やレクリエーションを実施し、ご利用者の満足度の向上に取り組んだ結果、昨年度から17.3%増の稼働率となった。また、新たに運動器具（エアロバイク）を整備し、機能訓練指導員（理学療法士）を中心に運動やストレッチのメニューを充実する事ができた。新規利用者獲得のため月に1回～2回必ず居宅介護支援事業所等に訪問し、挨拶と新規の声掛けやサービス担当者会議で顔を合わせる担当ケアマネジャーにチラシ一式を渡す事ができた。ご利用者の体調変化や体重の増減・その日、本人から聞いた事など担当ケアマネジャー・ご家族への報告をしっかりと行い、良好な関係を築く事ができた。新規利用者数２４名、終結者１５名であった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	68.3%	71.6%	69.3%	71.2%	67.4%	74.3%	74.0%	75.0%	77.7%	79.2%	79.3%	79.1%	73.9%
令和3年度	54.5%	55.0%	53.9%	55.2%	57.2%	59.5%	56.2%	55.9%	56.6%	59.8%	56.0%	58.3%	56.5%

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	2	3	4	1	1	1	2	2	3	4	0	1	24
令和3年度	2	1	2	3	4	3	1	1	5	1	2	2	27

【お試し利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	1	6	7	3	2	2	2	4	2	6	1	3	39
令和3年度	4	3	4	3	5	5	2	2	6	3	3	4	44

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	67.8	71.7	70.6	70.7	70.7	74.2	74.1	75.5	75.5	79.9	79.3	79.1	74.0
令和3年度	54.3	55.1	54.2	55.0	57.9	59.9	55.1	55.1	57.2	57.2	56.0	58.7	56.3

【個別機能訓練加算　算定人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	34	37	35	38	37	35	38	39	39	40	38	38	37
令和3年度	0	0	0	27	28	28	30	35	30	30	30	33	22

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
令和3年度	2.1	2.1	2.2	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.9

特別養護老人ホームしがそせい苑

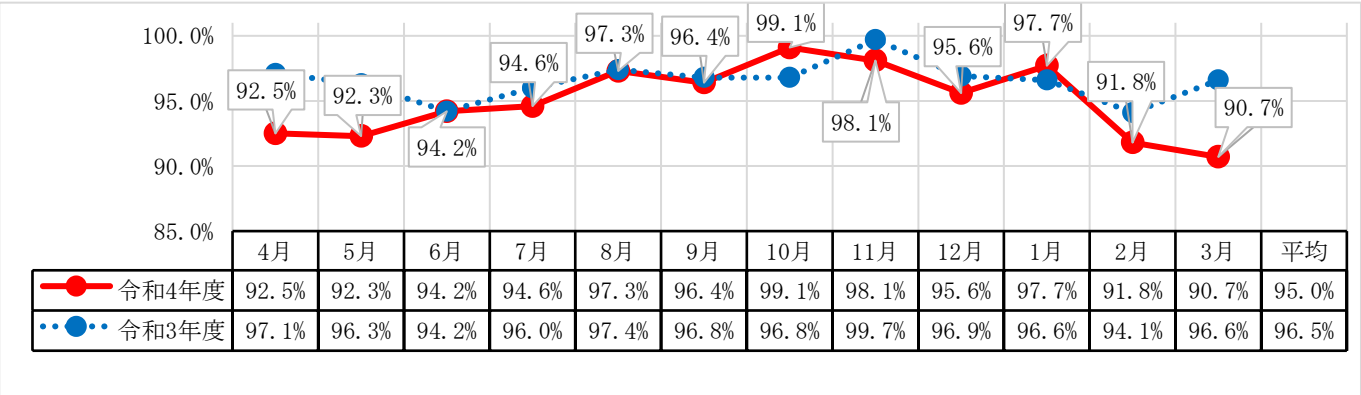
【事業報告】

令和４年度は全体研修で２回口腔ケアや誤嚥性肺炎について歯科の山元先生の講義を受けた。利用者個別の課題について歯科往診で相談する等の連携も図れた。一方で誤嚥性肺炎や尿慮感染症での入院が昨年度に引き続き多く、入院者数、日数の増加原因となった。

４月、８月、２月に特養で新型コロナウイルス感染症が発生した。ガウンテクニックや職員の情報共有不足により感染対応の長期化や感染拡大防止が課題となった。職種や部署を超えて収束に向けて協力したが、罹患者の入院や感染対応中の新規入居者受け入れ停止により稼働率に大きく影響した。また、入所申込者の減少と他施設入所でのキャンセルが増え、入所待機者の確保に苦戦した。昨年度と退所者数は同数であるが、空床日数は３倍以上となった。

開設 20 年を迎え、設備の不具合や修繕があったが速やかな対応ができなかった。計画的に修繕できるよう報告、相談を行っていく。

コロナ禍でも生活の中で楽しみを見つけられるよう、誕生日に管理栄養士の手作りケーキでお祝いしたり、月１回食べたいものをデリバリーで楽しむ機会を設けた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	92.5%	92.3%	94.2%	94.6%	97.3%	96.4%	99.1%	98.1%	95.6%	97.7%	91.8%	90.7%	95.0%
令和3年度	97.1%	96.3%	94.2%	96.0%	97.4%	96.8%	96.8%	99.7%	96.9%	96.6%	94.1%	96.6%	96.5%

【入院日数】（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	152	137	132	83	51	52	23	46	99	34	79	130	1018
令和３年度	51	68	123	93	45	68	57	0	66	75	46	71	763

【新規入所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	3	2	2	1	0	2	5	1	4	3	0	0	23
令和３年度	3	1	2	1	2	1	3	2	1	1	1	2	20

【退所者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	3	3	2	3	1	1	0	0	1	2	3	1	20
令和３年度	3	2	1	1	2	2	3	1	2	1	1	1	20

【空床日数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	28	54	17	58	27	35	0	0	11	22	38	127	544
令和３年度	20	12	26	5	17	6	19	12	15	9	12	15	168

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7
令和３年度	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7

ショートステイしがそせい苑

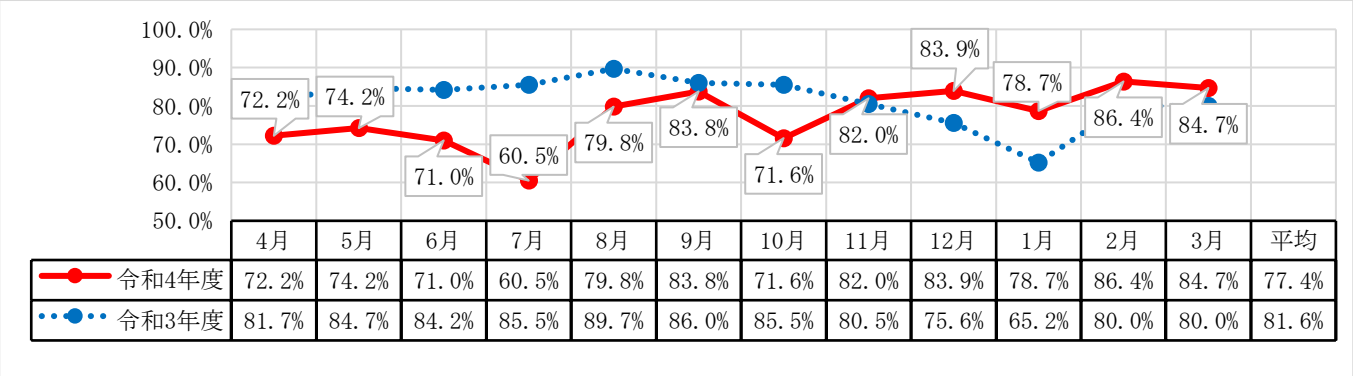
【事業報告】

令和４年度は稼働率 88%を目標として空き情報を毎週ケアマネージャーに送り、施設での行事や取組みは毎月発行するお便りで案内を行った。

面談等で得た利用者情報は記録するとともに現場職員に共有し、すべての職員が情報やプランに基づいた支援を行い、その評価を会議に持ち寄り多職種で話合うことで利用者の機能向上に努めた。

重度の認知症の方やその家族が安心して生活できるよう行政や医療機関などと連携して進めた。認知症の勉強や認知症利用者への関わり方などの勉強をユニット会議等で行い情報共有することで認知症利用者に対する職員の意識も変わり、その場だけの援助ではなく継続的な援助ができ、また認知症の利用者を緊急で受入れ対応することができた。

稼働率が昨年度より低下した原因としては実利用人数の減少が考えられる。減少の原因として今年度は新型コロナウイルス流行による受入れ中止や定期利用者の利用中止、家族が心配して利用を控える方が目立った。その一方、関わりが無かった事業所を含め新規 75 名の依頼をいただくことができ、定期的な訪問活動を行った成果だと思われる。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	72.2%	74.2%	71.0%	60.5%	79.8%	83.8%	71.6%	82.0%	83.9%	78.7%	86.4%	84.7%	77.4%
令和3年度	81.7%	84.7%	84.2%	85.5%	89.7%	86.0%	85.5%	80.5%	75.6%	65.2%	80.0%	80.0%	81.6%

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	56	66	64	53	65	73	64	72	66	59	66	68	64.3
令和3年度	75	79	69	76	68	74	78	71	74	63	63	65	71.3

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	1	6	8	4	8	6	5	16	2	5	6	8	75
令和3年度	5	5	4	5	3	5	8	6	3	5	5	2	56

【平均要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.9	2.7
令和3年度	2.6	2.5	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8	2.9	2.6

デイサービスセンターしがそせい苑

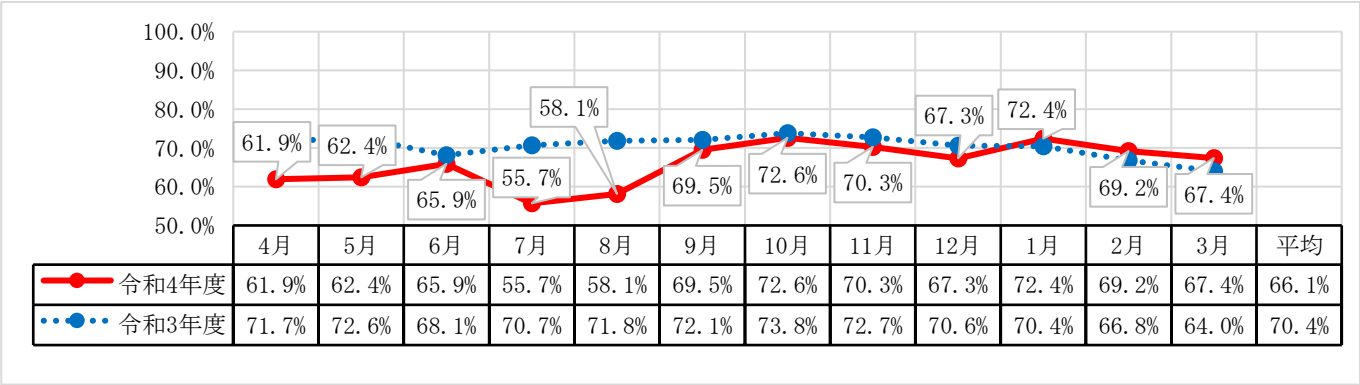
【事業報告】

個別性の高いサービスを提供し在宅支援機能の強化を図る為、利用者・家族との面談の中で得た情報を記録するとともに現場職員にも共有し、全ての職員が利用者の情報やプランに沿った支援を行い、その上で各担当者が行った評価を会議で持ち寄り、多職種で話し合うことで、科学的な根拠に基づいたサービスを提供した。

バーセルインデックスの評価のやり方を見直し機能訓練指導員中心ではなく会議で多職種が評価することで課題が見えやすくなり、課題中心のリハビリなどができ ADL 向上に繋がった。このことで次年度は ADL 維持加算（Ⅱ）が算定することができる。

お試し利用者は増加したが利用者が思うニーズに近づけなかったり、デイサービスでの活動や特色をアピールできず２割程度の方が新規利用に繋げられなかった。新規利用者の獲得も伸び悩み稼働率を向上することが出来なかった。新規利用者 29 名、終結者 17 名であった。

毎月居宅介護支援事業所への訪問活動を継続して行い、今まで関わりの無かった新たな事業所開拓も進めた。居宅ケアマネージャーとの関係性の構築しデイサービスの取組のアピールをすることで新規利用者の獲得に努めた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	61.9%	62.4%	65.9%	55.7%	58.1%	69.5%	72.6%	70.3%	67.3%	72.4%	69.2%	67.4%	66.1%
令和3年度	71.7%	72.6%	68.1%	70.7%	71.8%	72.1%	73.8%	72.7%	70.6%	70.4%	66.8%	64.0%	70.4%

【新規利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	2	0	4	2	0	5	5	2	1	3	3	2	29
令和３年度	4	3	1	2	1	0	3	2	0	2	1	1	20

【お試し利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度	1	2	4	0	0	0	3	2	2	1	2	2	19
令和３年度	3	0	0	1	1	0	1	0	0	2	1	0	9

【実利用人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	58	55	56	57	56	59	66	65	65	62	64	63	60.5
令和３年度	60	62	63	61	60	60	61	62	61	59	57	58	60.4

【個別機能訓練加算　算定人数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	57	54	55	56	55	58	65	64	64	61	63	62	59
令和３年度	59	61	62	60	59	59	60	61	60	58	56	57	59

【平均要介護度】

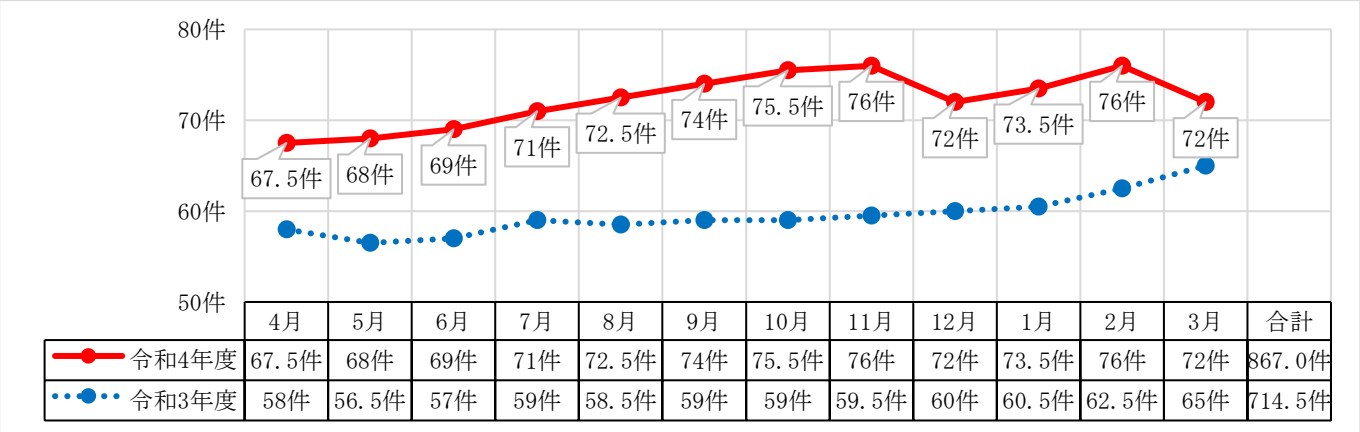
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和４年度	2.4	2.5	2.3	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.4	2.3	2.4
令和３年度	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3

居宅介護支援事業所　しがそせい苑

【事業報告】

要支援者の受け入れを積極的な姿勢であったことが地域包括支援センターからの新規相談件数が増えたことと状態に変化がある方は区分変更の申請を行い適宜介護度の見直しを行うことで、要介護者の増加につながった。住み慣れた馴染の地域で本人らしい暮らしを続けることを目指し、民生委員や健康福祉委員による定期訪問を地域の重要な社会資源として活用し地域の支え合いに必要な援助につなげるように努めた。感染症対策を講じたもののサロンを再開することができなかった。コロナ禍で利用者をどう支援していくかが課題である。地域ケア会議に参加し、個別課題の解決の糸口を探ると共にケアマネジメントの実践力を高めるよう自己研鑽に努めた。

次年度は毎月終了利用者（終末期、施設入所等）の数を見越して、登録者の数を増やし、利用者数の減少がないように新規獲得と利用者と家族に対する支援に努めていく。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	67.5件	68件	69件	71件	72.5件	74件	75.5件	76件	72件	73.5件	76件	72件	867.0件
令和3年度	58件	56.5件	57件	59件	58.5件	59件	59件	59.5件	60件	60.5件	62.5件	65件	714.5件

【要介護利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	51	52	54	55	55	57	59	60	56	58	58	58	56.1
令和3年度	46	45	46	49	49	49	49	50	49	48	49	52	48.4

【要支援利用者数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	33	32	30	32	35	34	33	32	31	31	31	32	32.2
令和3年度	24	23	22	20	19	20	20	19	22	25	27	26	22.3

【新規受付数】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	4	4	2	2	4	4	0	1	0	0	2	0	1.9
令和3年度	1	1	1	1	0	2	3	2	5	6	3	1	2.1

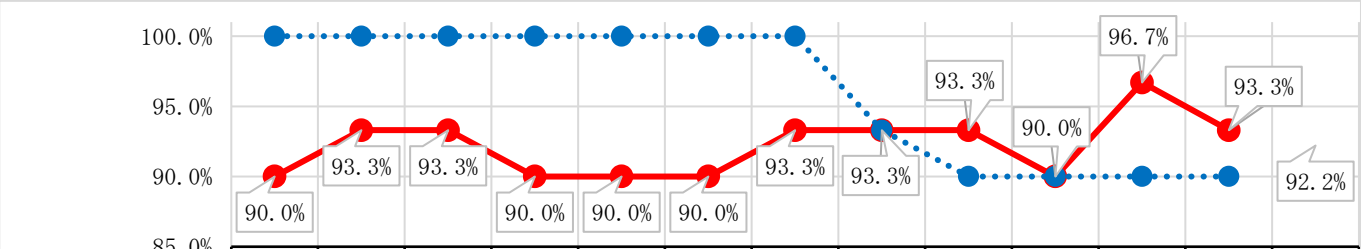
ケアハウスしがそせい苑

【事業報告】

令和４年度は『大人の塗り絵』『書道』『脳トレ』に参加し、楽しみながら脳を活性化し、できるだけ健康でケアハウスで生活を送ることができるよう、介護予防の推進、入居者の機能向上に努めた。併せて、昨年来よりテーマだった転倒予防などの対策として、毎日 15 分間の健康体操を実施し、入居者へ健康に対する意識の向上、心身の強化に努めてもらった。平均参加人数は８名。その他週１回、１時間健康体操の時間も設けている。

施設でのコロナ感染に対しては、感染拡大を防ぐ為、家族様に依頼してご自宅で療養してもらう対応を行った。また、ご自宅で療養できない環境の方は、家族様にケアハウスに療養期間終了まで泊まって頂き、隔離対応をお願いした。ケアハウスでは外出先で罹患した可能性があり、マスクの正しい着用、手洗い、人混みを避ける等の外出時の標準予防策の徹底を理解していただく必要性がある。

空所期間が長引いたことについては、施設で感染が広がっている間面談を進めることができなかったが、特養のライン面会のような手段を使うなど工夫して、速やかに入所につなげる必要があった。令和５年度は応募があってから５日以内に連絡を取り面談し書類を揃え、速やかな入所につなげる。また居室について、「琵琶湖の見える部屋」など入居の条件を限定される方もおられ、希望される部屋が無い場合、他の居室の勧め方も考える必要がある。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	90.0%	93.3%	93.3%	90.0%	90.0%	90.0%	93.3%	93.3%	93.3%	90.0%	96.7%	93.3%	92.2%
令和3年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.3%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	96.1%

【令和４年度】（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	27	28	28	27	27	27	28	28	28	27	29	28	332
入所者数	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4
退所者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
入院者数	2	1	2	1	0	0	0	2	3	6	4	2	23